

① ^{ぶん}文を^よ読みながら「わ・い・う・え・を」に○（まる）をつけましょう。

おしりのかたちのかおでおなじみのおしりたんていは、にせんじゅういちねんにあいぱっどのこどもむけのえほんあぶりとしてとうじょうしました。

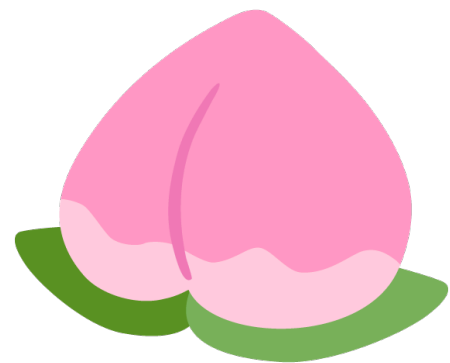
にせんじゅうはちねんからは、えぬえいちけいで、おしりたんていのでればあにめがほうそうされはじめました。ものがたりでは、おしりたんていのじょしゅのぶらうんとともに、さまざまななんじけんをかいつしていきます。

おしりたんていのくちぐせは「ふーむ、においますね。」です。また、はんにんをおいつめるときのひっさつわざとして「しつれいこかせていただきます。」とって、きょうれつなにおいをはなちます。

② それぞれの^{かな}仮名^{かず}の^{かぞ}数を数えて、^{すうじ}数字^かを書きましょう。

わ	い	う	え	を
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ ^{なに}何^かについて書かれた^{ぶん}文^{おし}でしたか？教えてください。



..... 折り線

【子供向け】文章 - ひらがな版：仮名拾い（かなひろい）課題プリント その9 - わ行編

答え ② わ：1 い：16 う：8 え：3 を：3

③ おしりたんていについて書かれた文。など